

特別区協議会・東京都公文書館共催パネル展

東京市
刊行物
からみた

関東大震災

被害と復興



浅草仲見世(震災後)



浅草仲見世(復興後)



永代橋(震災後)



永代橋(復興後)



銀座(復興後)



銀座(震災後)

特別区協議会・東京都公文書館共催パネル展
「東京市刊行物にみる関東大震災～被害と復興」図録

令和5年11月

編集 東京都公文書館

発行 公益財団法人特別区協議会

大正12年(1923)9月1日に発生した関東大震災では、南関東から東海地方にかけ広範な被害が発生し、10万5千人を超える犠牲者を出しました。

とりわけ大火災により壊滅的な被害の出た東京では、緊急の救護活動に続いて、国・東京市・東京府の連携による震災復興事業が実施され、幹線道路の整備、区画整理事業、不燃化を目指した鉄筋コンクリート建ての学校整備等が進められました。

それから100年目の節目に当たる今年、甚大な被災状況から復興に至る先人たちの取り組みを、東京市が発行した刊行物を中心に紹介します。本展示を通して、改めて自然災害の恐ろしさと防災対策の重要性について考える機会としていただければ幸いです。